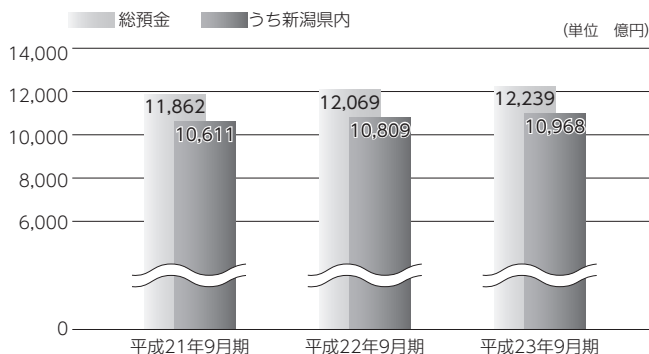


平成23年度中間決算ダイジェスト (単体)

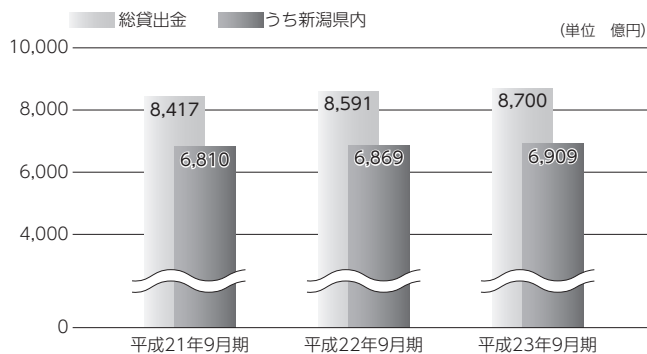
■ 預金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比170億円増加の1兆2,239億円となりました。

新潟県内預金残高は前年同期比159億円増加の1兆968億円であり、県内預金比率は90%です。

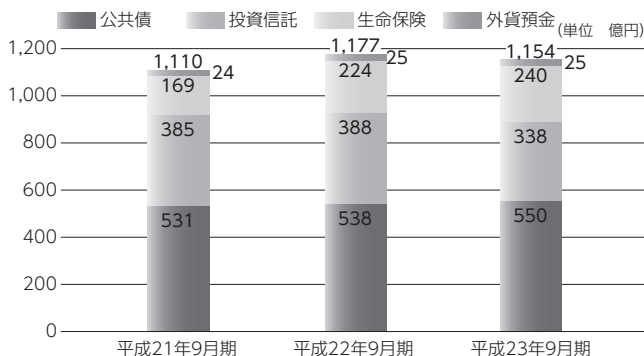
■ 貸出金残高



貸出金残高は、事業者向け貸出や地公体向け貸出が増加したことなどから前年同期比109億円増加し、8,700億円となりました。

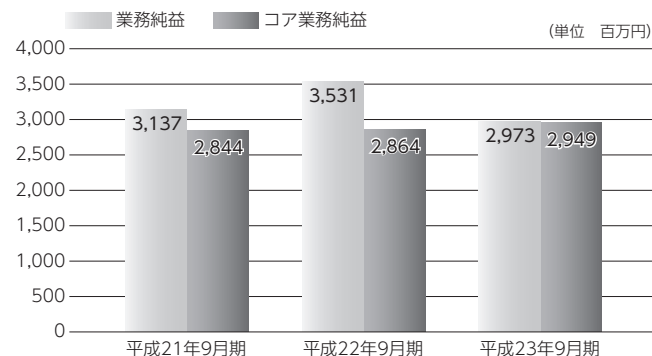
新潟県内貸出金残高は前年同期比40億円増加の6,909億円であり、県内貸出金比率は79%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、公共債、生命保険が増加したものの、投資信託が基準価額の下落などの影響により減少したことから前年同期比23億円減少し、1,154億円となりました。

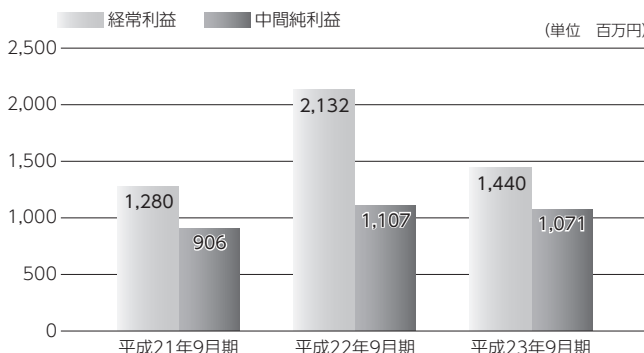
■ 業務純益・コア業務純益



コア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少したものの、経費削減に努めたことなどにより、前年同期比85百万円の増益となりました。

業務純益は、一般貸倒引当金の戻入超過額が臨時収益に計上されたことなどから前年同期比5億58百万円の減益となりました。

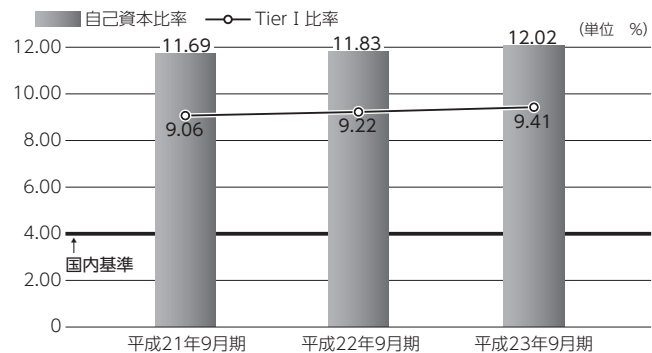
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、与信関係費用の増加や有価証券(債券・株式等)関係損益の減少により、前年同期比6億92百万円の減益となりました。

中間純利益は、経常利益の減少があったものの、税金費用の減少を受け、前年同期比36百万円の減益にとどまりました。

■ 自己資本比率・Tier I 比率



自己資本比率は、前年同期比0.19ポイント上昇の12.02%となり、高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算した単体のTier I 比率は9.41%であり、引続き十分な水準を維持しております。